

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	愛甲石田駅南口周辺地区まちづくり推進事業			事業番号	25-104
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	重田 浩光	都市政策課	飯田 裕一	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	8	自然と調和した住みよいまちづくり	
		施策展開の方向	1	愛着のある美しいまちをつくる	
		施策	25	地域の個性あふれるまちづくりの推進	
予算事業名	愛甲石田駅周辺整備促進事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成5年度	～	終了年度	-
関連法令等	都市計画法、伊勢原市地域まちづくり条例				
国・県の計画等	-			計画期間	-
関連個別計画	伊勢原市第5次総合計画、都市マスタープラン			計画期間	-
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	愛甲石田駅南口周辺地区の整備を促進するための調査活動を行うため、平成5年10月に地元関係者等により愛甲石田駅南口周辺整備研究会が発足した。以来、地区のまちづくりについて、調査研究を行っている。				
目的 (何をどうしたいのか)	狭あいな道路対策など地区における住環境改善のための計画及び事業手法等の検討を行う。				
主な対象 (誰・何を対象に)	愛甲石田駅南口周辺地区、約7.5haの区域内の住民等				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元研究会組織を中心に、地区のまちづくり課題への対応策等について検討します。 ・地域のまちづくり団体との連携や隣接する厚木市地域のまちづくりとの情報共有等を図りながら、地区のまちづくりを推進します。 				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	まちづくり計画	解決手法の検討	方針の策定		
	地元組織	組織のあり方検討	地元組織体制強化		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	地域まちづくり協議会の設立への取組	課題整理	解決手法の検討	方針の策定	



事業実施 (Do) へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	愛甲石田駅南口周辺整備研究会を中心に、地区のまちづくり課題への対応策等について検討を行う。また、成瀬活性化委員会など地域のまちづくり団体との連携や隣接する厚木市のまちづくりとの情報共有等を図りながら、地区のまちづくり推進に向けた意識高揚を図る。			
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他		具体的内容 愛甲石田駅南口周辺整備研究会による主体的な活動	
実施結果	項目	年度		
		28年度	29年度	
	まちづくり計画	解決手法の検討		
	地元組織	組織のあり方検討		
実施した取組の内容	愛甲石田駅南口周辺整備研究会において、役員会、総会、地域の防災や活性化をテーマとした住民主体のまちづくり先進地区(堀切地区まちづくり推進協議会)の視察など、調査・研究活動を行った。また、成瀬活性化委員会と連携し、研究会の成果を地域住民に広く周知した。			
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度	
			28年度	29年度
	地域まちづくり協議会の設立への取組	課題整理	解決手法の検討	

年度		28年度 実績				29年度 実績			
コスト	事業費合計 (a)		3	千円			千円		
	内訳	国県支出金 ①		0	千円			千円	
		地方債 ②		0	千円			千円	
		その他特財 ③		0	千円			千円	
		一般財源 (a)-①-②-③		3	千円		0	千円	
国県支出金の内容									
その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		前回の改定時期					
	その他								
人件費	正規職員	0.03	人	260	千円		人		千円
	その他の職員	0	人	0	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	0.03	人	260	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)				263	千円				千円
単位当たりコスト	対象数	定義		研究会参加人数		単位		単位	
	対象数			41	人				
	総事業費／対象数			6,415	円			円	

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	研究会活動において、地域の防災や活性化をテーマとした他市の事例を視察するなど、地区のまちづくりの課題に対する検討を進めた。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	愛甲石田駅南口周辺地区という本市固有の地域における取組のため。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	地区住民主体のまちづくりを進めることで、住民のニーズに合った実践的なまちづくりの方向が導かれる。また、成瀬活性化委員会など他団体との関わりを持ちながら、多面的な検討することで地区のまちづくり推進に貢献する。
効率性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	B	左記判断理由	地区のまちづくり推進には、社会情勢の変化や地域の実情などを踏まえ、地区のまちづくりの課題を検証し、住民のニーズに即したまちづくり手法の選択や実践的な取組を展開していく必要がある。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	地区のまちづくり推進には、社会情勢や地区の実情などを踏まえた上で、愛甲石田駅南口周辺整備研究会との将来地域像の共有とともに、地元の様々な取組が地域のまちづくりにつながっていく必要がある。また、隣接する厚木市との連携を図り、地区住民がまちづくりの課題を共有することが大切である。
次年度取組方針		愛甲石田駅南口周辺整備研究会におけるこれまでの研究・検討の経過を踏まえ、地区のまちづくり課題への対応について取り組んでいく。また、成瀬活性化委員会など、地域のまちづくり団体との連携や隣接する厚木市のまちづくりとの情報共有等を図っていく。		
所管部長による総評		土地利用状況や特性を地区住民が十分に把握・理解した上で、地区の将来像を共有し、住環境の維持改善、防災性の向上、まちの魅力づくりなどが地域主体で進められることは、今後のまちづくりの主となる姿と考える。これまでの先進都市の事例から、まちづくりには地域住民の熱意と長い時間が必要であるため、地域が主体的にまちづくりを進められる仕組みづくりや地域住民の意識高揚を図りながら、着実に事業を進めていく必要がある。		